



パンフレット AG020
1999年 2月作成
工業用

ナイロン用汚染防止剤

ユニオナル R N C (U N I O N A L R N C)

ナイロン/綿、ナイロン/レーヨン混紡・交織品の染色においては、セルロース用染料である反応染料がナイロン側に汚染するため、色相のくすみや再現性不良、堅牢度不良等のトラブルが生じやすくなります。

ユニオナル R N C は特殊芳香族スルホン酸塩を主成分とし、反応染料のナイロン汚染防止に顕著な効果を発揮するだけでなく、耐光堅牢度の低下や処理変色（黄変）がほとんどない新規ナイロン用汚染防止剤です。

性質・性状

外観	赤褐色液体
成分	特殊芳香族スルホン酸塩
イオン性	アニオン
pH	約 7.0 (1% 水溶液)
溶解性	任意の水に溶解します。

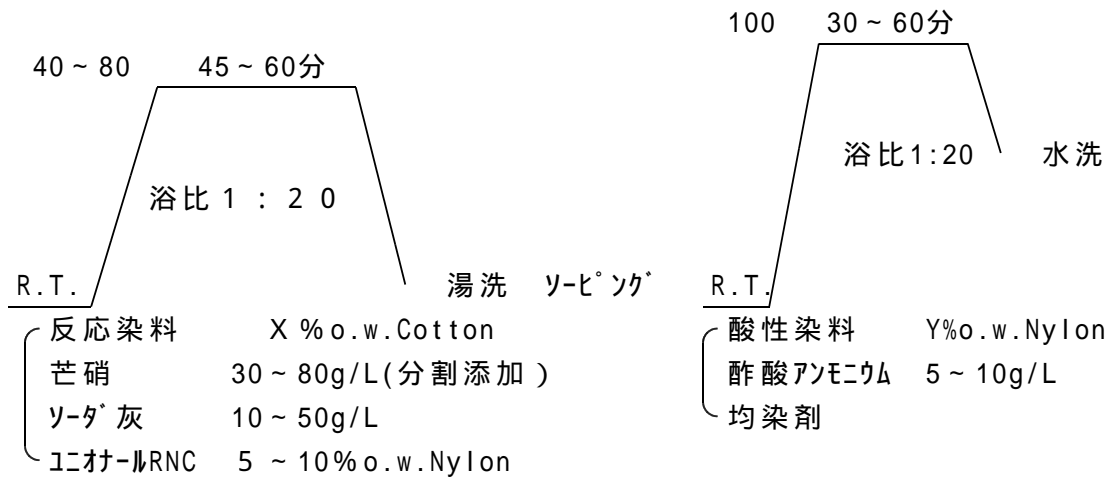
特徴

1. ユニオナル R N C はナイロン/綿、ナイロン/レーヨンの染色において、反応染料のナイロン汚染を防止し、ナイロンの白残しを可能とします。
2. ユニオナル R N C は耐光堅牢度に悪影響を与えません。
3. ユニオナル R N C は極淡色においても処理変色（黄変）がほとんどありません。
4. ユニオナル R N C は一浴法、二浴法ともに使用できます。
5. ユニオナル R N C は耐塩性（耐芒硝）に優れています。
6. ユニオナル R N C は低起泡性です。

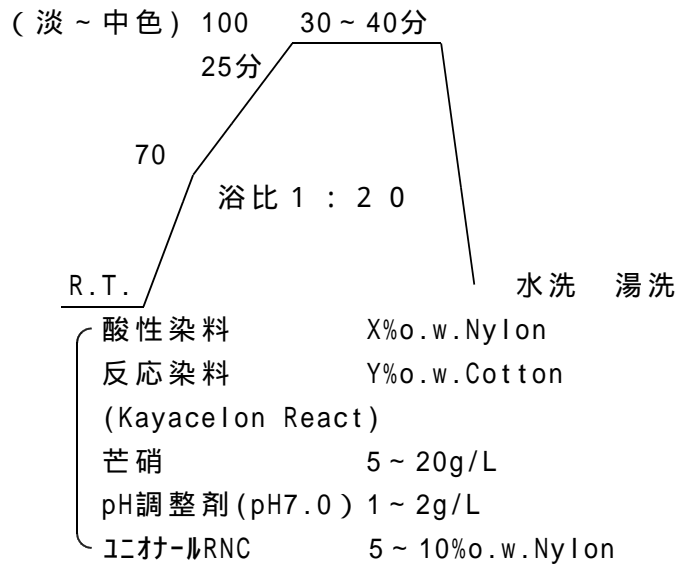
使用 方 法

ナイロン / 綿、ナイロン / レーヨンの吸尽染色時、反応染料染色浴に添加します。
混率や使用する染料の種類・濃度により異なりますが、標準使用量は下記の通りです。

1 . 反応染料 / 酸性染料による染色 (二浴法)



2 . 反応染料 (Kayacelon React 等) / 酸性染料による染色 (中性染法、一浴法)



使用上の注意

- ・使用前によく振ってお使い下さい。

性能試験

1. 反応染料染色におけるナイロン汚染防止性の比較

試料：ナイロンジャージ / 綿メリヤス（下晒布） 1 : 1

染料：

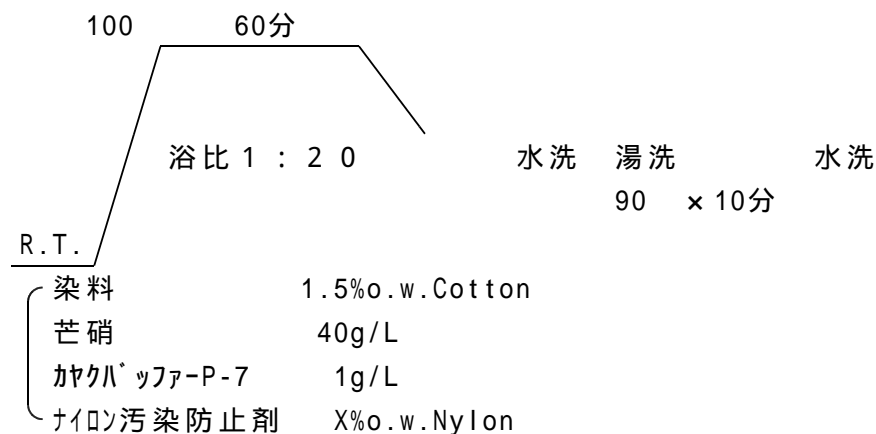
{	Kayacelon React Yellow CN-603	0.5%o.w.Cotton
	Kayacelon React Red CN-603	0.5%o.w.Cotton
	Kayacelon React Blue CN-MG	0.5%o.w.Cotton
{	Sumifix Supra Yellow 3RF 150%	0.7%o.w.Cotton
	Sumifix Supra Brill.Red 3BF 150%	0.7%o.w.Cotton
	Sumifix Supra Blue BRF 150%	0.7%o.w.Cotton
{	Procion Yellow H-EXL	1.0%o.w.Cotton
	Procion Red H-EXL	1.0%o.w.Cotton
	Procion Blue H-ERD	1.0%o.w.Cotton

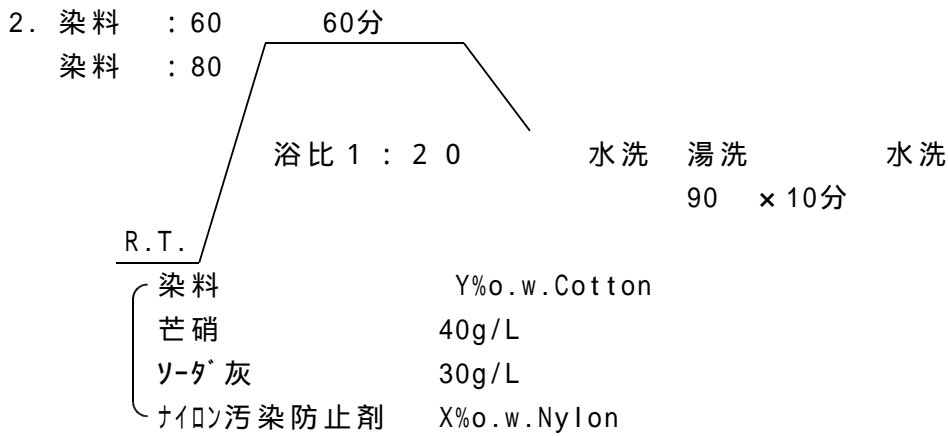
ナイロン汚染防止剤

- 0) 無添加
- 1) ユニオナルRNC 5%、10%o.w.Nylon
- 2) 他社品A 5%、10%o.w.Nylon
- 3) 他社品B 0.5%、1.0%o.w.Nylon

処理条件

1. 染料





判定方法：上記の染料および処理条件で染色した場合のナイロン布の汚染程度を目視で判定した。

結果： 表1 ナイロン汚染防止性の比較

ナイロン汚染防止剤		染料		
無添加		×	×	×
ニオナ-ルRNC	5%o.w.Nylon			
	10%o.w.Nylon			
他社品A	5%o.w.Nylon		×	×
	10%o.w.Nylon		×	×
他社品B	0.5%o.w.Nylon	×	×	×
	1.0%o.w.Nylon		×	

ナイロン汚染：(多) × < < < (少)

2. ナイロン汚染防止剤処理による耐光堅牢度への影響

上記染色布について耐光堅牢度試験を行った。

試験方法：綿側の耐光堅牢度をJIS L-0842に基づき測定した。

フェード・オ・メーターで63 × 20時間照射した。

結果：

表 2 ナイロンの汚染防止剤処理による耐光堅牢度への影響

ナイロン汚染防止剤		染料	染料	染料
無 添 加		4	4 ~ 5	4 ~ 5
ユニオールRNC	5%o.w.Nylon	4	4 ~ 5	4 ~ 5
	10%o.w.Nylon	4	4 ~ 5	4 ~ 5
他社品 A	5%o.w.Nylon	4	4 ~ 5	4 ~ 5
	10%o.w.Nylon	4	4	4 ~ 5
他社品 B	0.5%o.w.Nylon	4	4 ~ 5	4
	1.0%o.w.Nylon	4	4	4

3 . 日光暴露によるナイロン汚染防止剤処理布の黄変

試験 1 の染料 染色布（ナイロン側）について、光照射による黄変の程度を比較した。

試験方法 : JIS L-0842に基づき行った。

フェード・オ・メーターで 63 × 20 時間照射し、照射部分の黄変を目視で判定した。

試験方法 : 試料を日光に 40 時間暴露した後、暴露部分の黄変を目視で判定した。

結果

表 3 日光暴露によナイロン布の黄変

ナイロン汚染防止剤		試験方法	試験方法
無 添 加			
ユニオールRNC	5%o.w.Nylon		
	10%o.w.Nylon		
他社品 A	5%o.w.Nylon	×	×
	10%o.w.Nylon	×	××
他社品 B	0.5%o.w.Nylon		
	1.0%o.w.Nylon		

: 黄変がみられない。× : 黄変がみられる。

×× : 著しい黄変がみられる。



ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

1 8 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行って下さい。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所(5 から 3 5)で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート(MSDS)」を用意しております。併せてご活用下さい。